



卒業証書授与(第20454号 吉川優貴さん)

3月7日(土)、「第79回卒業証書授与式」が挙行政され、213名の卒業生が松江二中を巣立ちました。卒業生総数は20,480人になります。式典には学校運営協議会の委員の皆さまにご臨席を賜り、保護者、在校生、教職員あわせておおよそ800人が、卒業生の門出を祝福しました。この日のために、卒業生も在校生も、人生の節目であるこの日の準備を、心を込めて行ってきました。参列した2年生は、卒業生の姿を目に焼きつけ、答辞や送辞に託された思いを胸に刻んだことでしょう。こうして伝統が受け継がれていきました。

令和7年度が修了しました

本日の修了式をもって、令和7年度の教育課程をすべて終えることができました。保護者の皆さま、地域の皆さまには、今年度も本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。令和8年度も変わらぬご支援をよろしく願いいたします。

年度末を迎え、学校は関係の皆様からいただいた評価を踏まえて、今年度の教育活動をふり返るとともに、令和8年度にむけて新体制を構築しているところです。3月19日現在、来年度の生徒数はおおよそ20名増で768名になる見込みです。特別支援学級数は増減なしですが通常の学級数が2学級増え、合計29学級となります。教職員も、非常勤講師や会計年度職員等を含めると85名を超える県内屈指の大規模校になる予定です。ますます、活気あふれる松江二中になりそうです。

松江二中HP

カラー版をご覧ください。



二中で過ごした日々や仲間を思い出して

在校生送辞(梶川幸花さん)

(略) 私たちが一緒に過ごした日々を振り返ってみると、みなさんは私たちの一番身近な目標であり、私たちの背中をいつも優しく押して下さっていたことに気づきます。

私たちが入学して一番初めに、そして深く関わっていただいたのは、部活動の先輩方でした。初めてのことで環境に慣れず、戸惑っている中、先輩方はそれぞれの部活動で、技術面ではお手本となってわかりやすく、マナー面などでは一つ一つ折に触れ丁寧に教えて下さいました。大会やコンクールへの練習の集中力や本番での成果は素晴らしいものがあり、中国・全国大会でも活躍され、二中の伝統を私たちに引きついでいただきました。

また、生徒会活動ではスローガンの「Let's sparkle」のもと、活気に満ち、一人一人が輝くようなさまざまな行事を企画、運営され、松江二中を盛り上げて下さいました。おかげで私たちは、楽しい日々を送ることができました。先輩方が全校のために活動する姿を見て、「私も生徒会でみんなの役に立ちたい」と思いました。(略)

皆さんが過ごしてこられた中学校生活は、たくさんの思い出であふれ幸せな三年間だったと思います。友達と笑いあった休み時間、全力を注ぎたくさんのことを学んだ部活動、そして進路選択。時には思い通りにいかず悩んだりしたこともあったと思います。そんな中でも、皆さんは支え合い、仲間とともに、乗り越え、前進してこられました。先輩方が卒業され、これまでのようにお会いできなくなると思うと、とても寂しく心細いです。ですが、これからは先輩方が紡いでこられた松江二中の伝統を私たちが受け継いでいきます。皆さんのように、後輩のお手本となるよう精進し、松江二中をさらに発展させていきます。

四月から進むそれぞれの選んだ新しい道の先には、より明るい世界が広がり、大きな期待と希望を胸に抱いていらっしやることでしょう。その反面不安もあるかもしれません。そんな時には、松江二中で過ごした日々や仲間を思い出して下さい。かけがえのない思い出や経験が、先輩方の勇気となり、原動力となり、支えとなるはずですよ。私たちも一人一人が輝く松江二中を目指して進んでいきます。(略)

卒業生答辞(大坂彩菜さん)

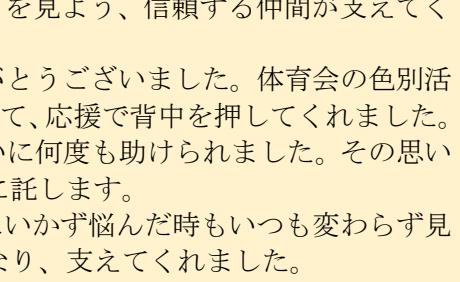
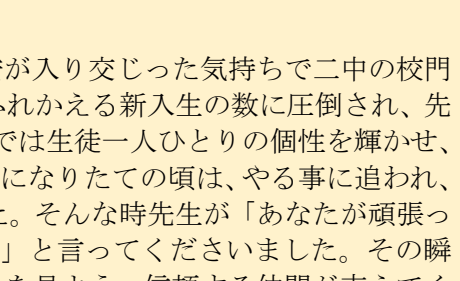
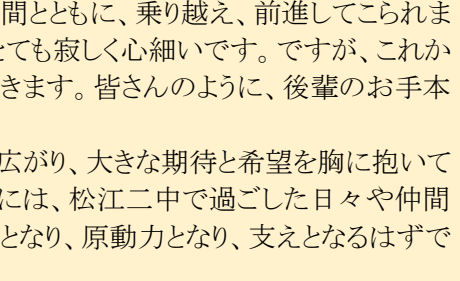
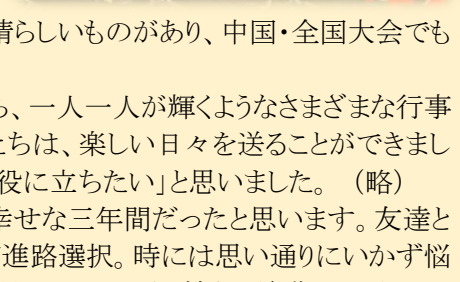
(略) 三年前の四月、まだ着慣れない制服に身を包み、期待と不安が入り交じった気持ちで二中の校門に足を踏み入れた時がついこの前のように感じます。昇降口にあふれかえる新入生の数に圧倒され、先輩方の姿が大きく見えたことを鮮明に覚えています。(略) 生徒会では生徒一人ひとりの個性を輝かせ、安心して過ごしやすい学校を目指して活動してきました。生徒会長になりたての頃は、やる事に追われ、本当に自分に会長が務まるか不安を一人で抱え込んでしまいました。そんな時先生が「あなたが頑張っていること、ちゃんと分かっているよ。みんなが支えてくれるから。」と言って下さいました。その瞬間、一気に心が軽くなりました。私は一人じゃない、迷ったら周りを見よう、信頼する仲間が支えてくれる。これは将来にもつながる大切な考え方となりました。

(略) 在校生の皆さん。これまで私たちについてきてくれてありがとうございました。体育会の色別活動では真剣に私たちの話を聞いてくれ、競技中も学年の垣根を越えて、応援で背中を押してくれました。体育会だけではなく、部活動や専門委員会でもみなさんの熱い思いに何度も助けられました。その思いを大切に進んでいってください。これからの松江二中はみなさんに託します。

そして誰よりも近くで私たちを見守ってくれた家族。思うようにいかず悩んだ時もいつも変わらず見守り、励ましてくれました。そしてどんな時でも私たちの味方になり、支えてくれました。

時が経って私たちがこの場所に戻って来た時、同じ場所でも私たちは今と全く同じ空間に戻ることはできません。あの場所で、あの仲間と過ごした、あの時間にしかない空気は時が経っても取り戻すことはできません。在校生の皆さん、今仲間と過ごしている松江二中での日々を、そして卒業生の皆さん、それから始まる新生活の日々を大切にしてください。今までもこれからも限られた時間、場所、そして側にいてくれる仲間を大切にしてください。松江二中での日々の授業や休み時間のおしゃべり、悩んだこと、楽しかったこと、いつも側にあった当たり前が幸せだと知りました。

松江二中でのこの幸せな日々を胸に私たちは進んでいきます。



式辞

(略)生徒会活動や学校行事にはとにかく全力で取り組む皆さんでした。体育会。雨で思うような練習ができない中でも、工夫をしてパフォーマンスを練りあげ、若さと活気にあふれた一日を創り出しました。色組をリードしている姿は、とても頼もしかったです。音楽会。最後まで磨きをかけ、歌い切りました。心と声を合わせた合唱は、決して一人だけではつukれない、人とのつながりによって成り立つものだというを示してくれました。また、地域の行事やボランティアにも積極的に参加し、「二中生がとても頑張っていた」と、喜んでいただきました。松江二中の歴史の一ページをしっかりと綴ってくれた皆さんであったと思います。

そんな皆さんも、人知れず言葉にならない思いを抱いたときもあったことでしょう。うまくいかないことややりたくないことに会った時、どうしてきたでしょう。ふてくされて投げやりになるか、今できることを見つけてやっていくか。これは、実は人生の「選択」の一つです。私は、皆さんに、その場でできることを見つけて行って欲しいと願います。なぜかという、その姿を誰かが見てくれていたり、何かいいことに会ったり、新しい道が見つかったりするものだからです。無駄だ、遠回りだ、意味がない、と思ったことが思いがけず皆さんに豊かな経験と実りをもたらすことがあります。どうか、これから先の長い人生、自分のできること・すべきことを「心を込めて丁寧に」行ってください。(略)願いどおりに物事が運ばない時や、誰も自分の気もちなどわかってくれないと泣きたくなること、人を責めてしまいたくなる時もあるでしょう。そんな時は、思い切り落ち込んだり叫んだりしてもいい。けれど、誰かに「助けてほしい」と言うことも良いことなのだというも覚えておいてください。(略)そして、その毎日に、ぜひ「ありがとう」と「笑顔」を添えてください。それらはあなた方自身を元気にしてくれますし周りの人を嬉しい気もちにします。周りの人の嬉しさはあなたに温かさとなって戻ってきます。皆さんは、誰もがこの世界で必要とされている存在です。義務教育を終えた今、皆さんはもう、与えてもらうだけの存在ではありません。学業や仕事、笑顔を通して周りの人やこの世界に幸せをもたらす力がある、ということを中心とめておいてください。(略)

二中で育った213名、一人ひとりの成長と幸せを心より願って式辞といたします。



松江市学力調査より分析の結果と今後の改善点をまとめました。(令和7年12月実施 ○成果●課題)

【国語】

- 読み手の立場に立って文章を整える力がついている。(1年)
- 文章の流れや組み立てについて根拠を明確にして考えることができています。(1年)
- 我が国の言語文化に関する知識が身につけている。(2年)
- 短歌についての文章を書く問題について、学習内容が定着している。(2年)
- 文法の文節に関する知識が定着していない。(1年)
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。(1年)
- 情報の扱い方に関する問題や文学的な文章を読む問題に課題がある。(2年)

【数学】

- 知識・技能に関する問題のうち、特に方程式と関数の技能が身につけている。(1年)
- 表やグラフ、図を書くなどの数学的活動の成果が表れている生徒が多い。(1年)
- 授業で総合分野での小テストを実施する中で知識・技能は身につけてきている。図形分野の知識・技能が定着している。(2年)
- 証明問題はワークシートなど細かく支援をしているので苦手意識がない。(2年)
- 思考・判断・表現に関する問題のうち、文字式と図形領域に課題がある。(1年)
- 文字を用いて表す約束や数量関係の把握、図形の性質や特徴について十分な理解ができていない。(1年)
- 思考・判断・表現を問う問題、1次関数を説明する問題に課題がある。(2年)

【英語】

- 語形・語法の知識・理解を問う問題での正答率が高く、対話文を読み取り解く問題で成果が出ている。(1年)
- 自分が好きなもの等についての英作文について相手に伝わるように3文以上で書く力がついてきている。(1年)
- 内容を理解し、聞き取れた内容を答える力がついている。(2年)
- 語いの知識・理解や単語の並べ替えによる英作文の力がついている。(2年)
- 日常的な話題について聞き取り概要をつかむ力に課題がある。(1年)
- 対話の流れに合った英文を考え、作文する力が弱い。(1年)
- 単語の時制の変化や場面に応じて書く英作やテーマに沿ってまとまりのある英文を書くことに課題がある。(2年)

【授業改善に向けて】

・全教科「つながる」を主題に研究を進め「個人→協働→個人」というサイクルで思考を深める取組が十分にできていたか各教科で振り返りを行った。各教科で出た課題や今後取り組みたいことを研究職員会で再確認し、新たに目標化して1年間取り組みを進めていく。

・国語：文章を書くことに抵抗感をもつ生徒が少なくないので、ポイントを明示しながらそれに沿った作文を書くことで経験を積んでいく。授業で生徒が互いの作品を相互評価する機会を増やすとともに、定期テストにおいて思考力、判断力、表現力等を問う問題を増やす。

・数学：授業の中で数学用語や知識を活用しての思考や説明の機会を増やし、授業改善への努力を行う。

・英語：テーマにそった表現活動を継続的に実施し、生徒同士でアドバイスをする活動や質疑応答をする活動を取り入れることで、他者との対話の中で考えを深めた上で自分の考えを適切に表現する場を設定する。

【家庭学習について】

・マイチャレンジテストに向けて、PUSの取組で基礎基本の定着をはかる。またeライブラリを活用することで、基礎的な知識・技能の習得をはかるとともに、自分で課題を選んで発展的な問題にチャレンジする機会を増やす。授業の中で思考力、判断力、表現力等を問う問題に多く取り組むことができるようにする。

令和8年度4月行事予定(3月19日現在)

※下校時間(一般・部活動)や行事の追加等については4月初めにtetoru(テトル)および学校HPでお知らせします。

日	曜	行事等	下校時刻		日	曜	行事等	下校時刻	
			給食	一般生徒 部活動生徒				給食	一般生徒 部活動生徒
1	水	部活動なし(5日まで)			16	木	3年身体測定 学級生徒会	給食	16:40 18:15
2	木	部活動なし			17	金		給食	16:40 18:15
3	金	部活動なし			18	土		給食	
4	土	部活動なし			19	日	しまね家庭の日	給食	
5	日	部活動なし			20	月	生徒総会 避難訓練	給食	15:10 -
6	月				21	火	1年自転車教室	給食	16:40 18:15
7	火				22	水		給食	16:40 18:15
8	水	委任式、始業式 (3年午前中下校) 2年は午後入学式準備(★弁当)	給食	②15:15 ③11:55	23	木	3年身体測定 学級生徒会 国・数・英(3技能) 意識調査	給食	16:40 18:15
9	木	入学式14:00~ ※2年は臨時	給食	①16:10 ③15:50	24	金		給食	16:40 18:15
10	金	2・3年給食開始 2・3年課題テスト 2年身体測定	給食	①12:25 ②③15:40	25	土		給食	
11	土				26	日		給食	
12	日				27	月		給食	15:20 -
13	月	1年給食開始 2・3年課題テスト	給食	15:20	28	火		給食	16:40 18:15
14	火	非行防止教室	給食	15:05	29	水	昭和の日	給食	
15	水	1年身体測定 専門委員会	給食	16:10 18:00	30	木	全学年 眼科健診	給食	16:40 18:15